

横浜市介護支援専門員連絡協議会 連絡協議会議事録

会議名	平成 30 年度 3 月 定例会		
開催日時	平成 31 年 3 月 15 日(金)	19:00~20:45	開催場所 横浜市社会福祉センター9 階
議 題	1	情報提供	
	2	H31 年度役員(案)・予算(案)・年度予定について	
	3	H31 年度総会について	
	4	各区の要介護認定等に係る情報提供申し込みの仕方について	
	5	各委員会及び他団体の協力委員報告	
	6	その他事務連絡	

1	情報提供	<p>「介護分野における情報技術等を活用した課題解決研究に関する動き」について (健康福祉局高齢在宅支援課 本間課長 正木係長)</p> <p>複数の企業から、介護分野でAIやIoT等の先端技術を活用した取り組みを推進したい、との提案を受けた。横浜市としても、民間企業と連携・協力しながら課題解決を進めるために、協力していくつもりである。</p> <p>上記先端技術を活用して、介護現場での業務効率の改善や高度化、介護サービスの質の向上等を図ることを目指す研究が想定される。横浜市としては、民間企業への協力とともに、介護・医療関係や大学、サービス利用者等の協力も得ながら進める予定でいる。</p> <p>想定される研究の一つとして、介護支援専門員の業務効率の改善等を目的とした、AIを活用したケアプラン作成を支援するツールの開発及び実証実験が挙げられる。実証実験を行うには、AIに学習させるデータを多く必要とする。当研究を実施するには、市内の居宅介護支援事業所にデータ提供の協力を依頼することが考えられる。その際には、研究の趣旨を理解頂き、協力をお願いしたい。</p> <p>実施前には、民間企業等から、どのようなデータが必要なのか、などのデータ提供についての説明会があると思われる。</p> <p>◇上記内容に対する質問◇</p> <p>問1:個人情報の問題はないのか? →法律やガイドラインに則って行う。また、データの提供については、国のルールである、一旦非識別化する業者を経てから行う。</p> <p>問2:ケアプランの提供は無償となるのか? →提供にどのようなメリットがあるのかを見定めながら、となる。</p> <p>問3:データの量はどの程度必要なのか? →その事業所のケアプランすべて。全体として、一万件くらい必要と言われている。</p> <p>問4:いつ頃の実施となるのか? →平成31年度の1年間くらい。</p> <p>問5:これまでに同様の話を耳にしているが、それとは別の動きなのか? →それとは別に行う。また、他にも動く企業はあるだろう。</p> <p>問6:横浜市としては協力するだけなのか? →実際には民間企業と居宅介護支援事業所とのやり取りとなる。ただ、情報</p>
---	------	--

No.	議題	内容
		<p>提供に際して、居宅介護支援事業所側が困るような状況になれば、市としても話をする。</p> <p>この話がもっとはっきりとしたら、あらためて YCM 定例会で説明する。横浜市としては、この取り組みに対して居宅介護支援事業所に協力をして頂きたいと考えている。</p>
2	H31 年度役員(案)・予算(案)・年度予定について	<p>○H31 年度役員(案)(加藤代表より)</p> <p>代表:加藤氏 副代表:小松氏・小又氏 サポート幹事:佐藤純氏・石井氏・角田氏 医療連携委員長:検討中 制度対策委員長:佐藤孔氏 広報委員長:松下氏 会計:佐藤直氏・今坂氏 事務局:原田氏・佐藤洋氏</p> <p>○H31 年度予算(案)(佐藤直氏より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先月の定例会を踏まえて、予算(案)を手直ししている。 →各委員会などから再修正の要望なく、了承される。 ・今年度の各委員会などでの交通費は、なるべく早めに報告を願う。 ・YCM の運営は、協賛団体あつてのことである。次年度も協力頂けるよう、また新たに加入して頂ける団体があれば、声をかけてほしい。 →現時点での次年度協賛団体申し込みは、13 団体となっている。このままなら、20 団体程となる。申し込まれた協賛団体をキントーンにアップするので、それを参考に協賛して頂ける団体に声をかけることとする。 <p>○H31 年度予定(加藤代表より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も毎月第 3 金曜日に定例会を開催する。なお、5月は総会があるので、定例会の開催は未定で、8月は休会の予定。 ・次の役員選出方法をどうするかは未定。 ・「定例会での横浜市健康福祉局との意見交換会」と「横浜市訪問介護連絡会との共催研修「集まれ介護のカ・パート3」」は、31 年度も開催の予定。 →「YCM の運営において、協賛団体の協力は欠かせない。本会に協賛して頂くことのメリットを検討する必要があるのではないか」との意見が出る。 →YCM ホームページや各種資料に協賛団体名を記載するなどあるが、その他にも何か意見があれば、キントーンへアップする。
3	H31 年度総会について	<p>総会実行委員長松下氏より</p> <p>日時:平成 31 年 5 月 23 日(木) 受付開始:12 時 30 分 総会開始:13 時 基調講演:14 時 10 分 場所:瀬谷公会堂 基調講演:車椅子ラグビーチーム「横浜義塾」 監督「月村安孝氏」 選手「月村珠美氏」</p> <p>総会チラシが完成した。各区での配布方法(ファクス・メール・直接渡しなど)を知らせてほしい。なお、チラシの配布先は各区に任せるが、対象としては居宅介護支援事業所・各サービス事業所・区役所・地域包括支援センターなどや、障がい関係施設なども周知してほしい。</p> <p>会場の瀬谷公会堂は、車椅子席が 8 席ある。事前に車椅子での来場とわかれば、その他に席を設ける。</p> <p>当日のタイムスケジュールは、完成後にキントーンにアップする。</p> <p>演者への質問について、過去のインタビュー記事をキントーンに載せているので、参考にしてほしい。質問内容については、演者に確認していて、「答えられないことは、答えられませんが、どのような内容でも構いません」とのお言葉を頂いている。</p>

No	議題	内容
4	各区の要介護認定等に係る情報提供申し込みの仕方について	<p>加藤代表より、「情報提供申し込みが、区により書式が違う。複数の区で活動しているケアマネジャーは、申込書が区ごとにあるので大変ではないか」との話があり、各区の申し込みの仕方などの意見交換を行った。</p> <p>→申込書の書式は各区により違うが、現時点では従来通りで業務を行い、今後は必要に応じて継続して検討する。</p>
5	各委員会及び他団体の協力委員報告	<p>○医療連携委員会(中村氏より) 次年度の内容については、委員長を中心に検討していく。</p> <p>○制度対策委員会(佐藤孔氏より) 3/27(水)開催の研修「いまケア」は、250名定員で265名の申し込みを受けた。左記人数でも収容可能である。現在、研修資料を作成中である。研修後に懇親会を予定していて、後日にキントーンで参加者を募る(3/24(日)締め切り)。</p> <p>なお、上記研修は「神奈川新聞は、日程調整をしてなるべく取材したい」「月刊ケアマネジャーは来訪」「NHKの来訪(講演者が、4月放送のクローズアップ現代で取り上げられる)」が予定されている。</p> <p>○広報委員会(松下氏より) サイボウズは3月で終了となる。まだキントーンに入れていない場合は、連絡をお願いする。</p> <p>○会計(佐藤直氏より) 議題2参照</p> <p>○事務局 特になし。</p> <p>○他団体協力委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会テーマ別検討会 これまでの経過を、角田氏がキントーンにアップする。 ・神奈川県介護支援専門員協会地域連携委員(兼武氏より) 2/27に地域連携会議が開催された。内容については、各団体長会議の際に、皆さんへバックする。 ・横浜市認知症疾患医療センター認知症疾患医療連携協議会(南部)(中村氏より) 3/1(金)に医師対象の「認知症対応力向上研修」が開催された。51名の参加者の内、内科医が一番多かった。介護保険主治医意見書について、認知症があっても認知症の記述がないケースが多いことも話題になった。認知症の見守りシールについて、2400人に周知し、700人が登録している。
6	その他事務連絡	<p>加藤代表より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「在宅医療介護セミナー」から後援依頼を受け、名義後援をした。 →本会参加者にて了承する。 ・月刊ケアマネジャーから、「30歳代から40歳代の女性ケアマネジャー」の取材依頼を受けた。対象者に4～5時間同行取材をする予定。希望者または推薦したい方がいれば、キントーンなどで連絡を頂きたい。

次回:31年4月19日(金)19時から
横浜市社会福祉センターにて